

答 ①18年度から就労支援員1人を配置し、ハローワーク新宿と連携を図るなど、就労支援、処遇向上に努めている。また、18年度、就労支援プログラムに結びつけたケースは79世帯、うち就労による自立、生活保護廃止までは73世帯である。②同プログラムの中でハローワーク連携、就労指導の推進、就労意欲形成の3つのメニューを設け、対象者にあわせ、支援している。

西武新宿線立体交差事業

久保議員 都は国に対し、中井駅・野方駅区間の新規着工準備採択を要望したが、区でも、連続立体交差事業化に向け、専門チームを組織するなど準備を進めてはどうか。

答 今後の野方駅・井萩駅区間についても、引き続き取り組みを続けるべきでは。

答 今後、駅周辺のまちづくりと併せて、関係機関との調整を進めるための体制づくりを行う。残りの区間についても、地元の方とまちづくりの検討を進め、杉並区とも連携しながら引き続き都に働きかけていく。

山手通りの安全確保

岩永委員 山手通りは、中野坂上交差点から南北に坂になる。信号待ちをしている人の安全確保や、バス停に屋根の設置、利用者を風害から守ることなど、区として住民の安全確保の対応を都などに求めていくべきではないか。

答 整備に伴い、歩行者の安全確保に一定程度問題があるような場合には、首都高や東京都に対し、住民の安全確保などの対応を依頼したいと考えている。

中野坂上のまちづくり

江口議員 22年に、中野坂上駅の西口改札口の開設が予定されている。この地域には、大きなスーパードもあり、買物などで道路を横断する区民が多いが、歩道橋が設置されているだけである。歩道橋は、非常に不便であるほか、バリアフリーの観点からの問題もある。改札口開設を機に、歩道橋を撤去し、横断歩道と信号機を設置してはどうか。

答 歩道橋は、バリアフリーの観点での問題があるが、子どもの安全面において、優れている点もある。関係機関や地元の意見を踏まえ、撤去も含めて協議していきたい。

上鷲宮まちづくり計画

小堤議員 地区整備計画の素案で問題になっているのは、住民との合意がないのに、あるものとして進めてきたこと、また、道路拡幅による地域環境の悪化と土地の無償提供である。この点の不安を解消して話し合いを進めるべきでは。

答 検討の進め方や周知の方法などで拙速なところがあった。地域住民や地権者などから、上鷲宮のまちの将来像について改めて意見を聞きながら、地域と区が一緒に話して話し合いを進めていきたい。

地域交通の充実

小堤議員 ①交通不便地域解消には、都市整備部だけでなく、子ども家庭部や保健福祉部などを含めた検討組織で取り組むべきでは。②「なかのん」への運行助成はあと1年となったが、運行廃止とならないよう、新たな補助も含め助成を継続するべきでは。

答 ①関連分野の実務者を中心にPTを立ち上げており、今後本格的に検討を進めることを考えている。②現段階では、運行助成の延長は考えていない。収支改善のため、サービス充実やPRなど協力を行っていききたい。

東中野のまちづくり

酒井議員 東中野駅の西口広場整備を契機に、商店街の活性化や駅の東西南北の格差解消を図り、中野の玄関口である東中野のまち全体が活性化するようにまちづくりを進めるべきではないか。

答 山手通り拡幅、西口広場整備、日本閣跡地開発などの事業により、にぎわいやまちの魅力が高まることを期待される。今後も、街路の基盤整備や業務施設の誘導などの課題に取り組んでいく。

野方駅整備と第三セクター

大内議員 ようやく野方駅整備が具体的に動き出した。そのなかで、第三セクターをつくるということ、補正予算も組んだ。第三セクターをつくる理由と、区、西武鉄道、第三セクターの役割は。

答 野方駅整備には、国の補助金を受けるが、交付対象は地方公共団体が出資する第三セクターに限定されているため、区と西武鉄道が出資して第三セクターを設立し、駅舎部分を建設、保有する。区は、南北自由通路と広場を整備し保有する。

野方駅整備の費用

大内議員 ①野方駅全体の整備の費用は土地代を除くと

幾ら位か。②この事業は21年度開設予定が半年も遅れている。これ以上遅れさせないでほしいが、今後の予定は。

答 ①区が行う自由通路と広場部分は約8億円、第三セクターが行う駅舎部分は約9億円と見込んでいる。②最大限早く実現をしていきたい。

教育

学校再編計画

篠議員 学校再編計画は、平成20年度に改定し、中・後期にかかる統合の時期や統合新校を定める。また、その時点の児童・生徒の推移などの人口動態や、通学区域の見直し、裏付けとなる財源なども加味しながら、区民議論の場を設けるといったことが、どのように設定するのか。

答 計画の策定には、児童・生徒数の推移や通学区域の見直し、さらに裏付けとなる財源なども加味して検討し、事前に区民に案を示して意見を聞き、進めていきたい。

地域図書館

篠議員 鷲宮図書館は、耐震補強工事のため、6カ月間一部事業を休止する。地域図書館の機能が欠落する時期は、学校図書館との連携を強化する機会になると思うがどうか。

答 区立図書館は、業務の一部を委託している。各館の受託者は、区職員指示のもと管内の学校などを巡回するなど連携強化に取り組んでいる。今後も引き続き子ども読書活動の推進に取り組んでいく。

学校施設耐震化

久保議員 耐震性能の判断は、建物だけでなく地盤の状況や基礎構造なども含め、総合的に判断が必要である。調査結果により、基礎の取り替え

が必要な場合は、改修ではなく、改築を検討すべきでは。

答 耐震改修工事は、建物と併せて、地盤、基礎も調査検討し、必要に応じて補強する。全面的に取り替える場合は、改築も考える。

図書館の充実

岩永委員 ①図書館の利用者や登録者を増やすためには、魅力がある、役に立つなどのサービスが欠かせない。図書費の増額と視聴覚資料の購入を再開するべきではないか。

②文部科学省が示す図書標準に達していない学校図書館が残っている。蔵書の充実、施設整備の整備が求められるが、区の考えは。

答 ①視聴覚資料の購入については、メディアの提供方法、利用形態の変化など、さまざまな角度から検討していきたい。②基準達成を目指し、蔵書の充実を図っている。学校ごとの計画を策定し、努力していく。

学校再編

酒井議員 中野昭和小との統合により、東中野小の児童は、幹線道路を二本横断して通学しなければならなくなる。大人に比べ視野が水平・垂直とも約60度狭いとされる児童の通学路の安全対策には、低学年の視点に立った配慮が必要ではないか。また、魅力的な統合新校とするための取り組みは、どうするのか。

答 通学路の安全確保については、さまざまな条件を考慮し、関係機関との調整を図りながら検討する。魅力的な学校づくりについても学校統合委員会が協議していく。

統合新校と伝統の保存

大内議員 来年4月に最初の統合新校、緑野中学校と桃花小学校が開校する。新しい学校に、統合される各学校の伝統や歴史を象徴する品を残すべきだと思いがどうか。

答 統合対象の学校の歴史、伝統を大切にすることは、非常に重要なことである。統合する各学校や同窓会の記念品などは、教育活動に支障のない範囲で新校の校舎内に保存していきたい。スペースの関係で、デジタル化して保存することも考えている。

文化・芸術

江古田の獅子舞

山崎議員 江古田の獅子舞は区の無形文化財に指定されており、区は文化財保護条例にて「文化財の保存と活用」に努める」としているが、江古田の獅子舞の実施日である10月第1日曜日には中野まつりも開催されている。両方に参加したい区民も多い。改善をすべきではないか。

答 日程の重複については中野まつりの実行委員も認識しており、来年度は第2土曜日に開催することになった。江古田の獅子舞は70年以上の歴史を持つ祭りであり、区としても地域の伝統文化につ

都市整備

西武新宿線立体交差事業

篠議員 西武新宿線の立体交差事業は、区を挙げて運動した成果もあり、東京都が鉄道立体化を検討していた20区間のうち、区に要望する2つの区に選ばれたことだが、この内容の概要は。

答 都議会第3回定例会で、京王線の代田橋駅・八幡山駅間と西武新宿線の中井駅・野方駅間の2区間の新規着工準備採択を国に要望した。都は、今年度、事業化に向けた構造形式の検討などに着手する。

物などで道路を横断する区民が多いが、歩道橋が設置されているだけである。歩道橋は、非常に不便であるほか、バリアフリーの観点からの問題もある。改札口開設を機に、歩道橋を撤去し、横断歩道と信号機を設置してはどうか。

歩道橋は、バリアフリーの観点での問題があるが、子どもの安全面において、優れている点もある。関係機関や地元の意見を踏まえ、撤去も含めて協議していきたい。

山手通り拡幅、西口広場整備、日本閣跡地開発などの事業により、にぎわいやまちの魅力が高まることを期待される。今後も、街路の基盤整備や業務施設の誘導などの課題に取り組んでいく。

野方駅整備には、国の補助金を受けるが、交付対象は地方公共団体が出資する第三セクターに限定されているため、区と西武鉄道が出資して第三セクターを設立し、駅舎部分を建設、保有する。区は、南北自由通路と広場を整備し保有する。

野方駅全体の整備の費用は土地代を除くと幾ら位か。②この事業は21年度開設予定が半年も遅れている。これ以上遅れさせないでほしいが、今後の予定は。

答 ①区が行う自由通路と広場部分は約8億円、第三セクターが行う駅舎部分は約9億円と見込んでいる。②最大限早く実現をしていきたい。